



とちょう保育園便り

2023年11月号

外の景色はすっかり秋の装いになり、公園の木々の葉も美しく色づいてきました。この時期のお散歩の楽しみといえば秋の宝物探し！落ち葉や木の実などを見つけ、集めることに夢中になっています。

子どもたちは日々の様々な場面で心を動かす瞬間がたくさんあります。まだ知らないことがたくさんあり、素直に「どうして？なんでだろう？」と言えます。それってとっても大切なこと。先日参加した研修の中で「乳幼児期の子どもは自らまわりの世界（環境）にはたらきかけながら、その対象について学んでいく。そして、その原動力となっているものが”好奇心や探究心”なのです。（「好奇心や探究心」を発揮して環境にかかわる子どもの姿は、別の目で見ると「困ったいたずら」として目に映ることもあるでしょう。）」ということを学びました。大人になると色々なことに疑問を持たなくなってきました。私たち大人もその発見と一緒に喜んだり、不思議がったり、感じたりするような好奇心や探究心をいつまでも持ち続けていたいなあと感じています。

とちょう保育園

11月の予定

りす組個人面談・保育士体験・保育参観
うさぎ組個人面談・保育士体験・保育参観

避難訓練

身体測定

防犯訓練

0歳児健診



ご参加ありがとうございました

保育士体験・保育参観・個人面談が始まりました。お忙しい中、お越しいただきありがとうございました。

今年度から始まった保育士体験は、最初は少し遠慮されていた保護者の方も保育士と同じエプロンを付け、子どもたちと遊ぶうちにだんだんと自然な笑顔になられていました。ご参加いただいた方々の感想をいくつか紹介いたします。

- ・「遊んでいるとき、我が子以外のお子さんが膝にちょこんと乗ってくれて、思わず”可愛い”と声に出していました。一緒に絵本を見たり、楽しかったです。」
- ・「保育園での普段の生活がよくわかりました。みんな先生たちとお話したり、先生の言葉も聞いているんですね。」
- ・「大変ですね。だけど子どもたちが自由にのびのびと楽しんでいて良いなあと思いました。」など。

ご自分のお子さんはもちろん、他のお友だちの姿を見ることも新鮮に感じていただけたようです。

参観ではのぞき穴から普段の遊びの様子をご覧いただきました。



「(子どもたちの様子を)ずっと見ていられますね。」と、興味深そうな表情をされていた保護者の方の姿が印象的でした。

面談はご家庭での様子や工夫・大切にされていることなどを聞かせていただくことができました。ある保護者の方から、過去に園で発信した「教えて園医さん」を指針にしてお家で子どもとの関わりをされているというお話を聞かせていただきました。子育てにおけるお悩み、疑問などは本当にたくさんありますね。ちょっと視点を変えてみたり、子どもを理解し、関わることでお互いにスムーズに過ごせることはたくさんあります。「教えて園医さん」にはポイント別に記していますので、お手元に置いていただき、色々な機会にご覧いただけたらと思います。



子どもたちの今の成長・姿をお家と園で共有し、見守っていくことが大切です。今後も子どもを真ん中に、保護者の皆さまと支え合い「子育て共育ち」が出来たらと思います。(これから体験・参観、面談にご参加いただく皆さまも、楽しみにお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。)